

## 施策評価シート(平成29年度実績)

基本構想	戦略的行政運営
重点的方針	戦略的な自治体運営及びスリムな財政運営の推進
概要	<p>戦略的な自治体運営を推進するため、長期的な視点に立ち、周辺自治体や町民、民間等との連携や、施策や事業等の柔軟な運用を行います。</p> <p>また、事業及び施策について、外部評価も含めた評価制度を活用し、効率的・効果的な運用を進めるため、事業費を含めた見直しや、統廃合等を進めます。</p>

	実施計画事業名	事業数	事業費執行率(%)	総合評価(%)			
				A	B	C	D
(1)	総合計画推進事業 (No.83)	1	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0
(2)	総合戦略推進事業 (No.84)	1	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
(3)	行政改革推進事業 (No.85)	3	-	33.3	66.7	0.0	0.0
(4)	財政管理事業 (No.86)	1	86.2	0.0	100.0	0.0	0.0
(5)	収納率向上対策事業 (No.87)	2	95.1	100.0	0.0	0.0	0.0
(6)	広域行政推進事業 (No.91)	3	100.0	33.3	33.3	33.3	0.0
(7)							
(8)							

課題 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町民にわかりやすい各計画の評価システムの構築</li> <li>・施策や事業の見直しに直結できるような各計画の評価手法の検討</li> <li>・総合計画中期基本計画及び第4次行政改革大綱の総括の方法の検討</li> <li>・新たな広域連携事業の検討</li> <li>・公会計の予算等への活用の研究</li> <li>・費用対効果を考慮したうえでの納税機会拡大の検討</li> </ul>
--------------	--

総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業を改善し、より政策を進める必要がある D: 施策を見直す必要がある	B
	説明	平成30年度は、総合計画中期基本計画及び第4次行政改革大綱の最終年度となることから、計画の進捗や評価システムの手法の検討結果を、次期計画に繋げることが必要である。また、総合計画に基づき、効率的、効果的な行財政運営を図るために、財源確保のための収納率向上や公会計活用による予算運用、様々な課題に対応できる新たな広域連携などについて、引き続き研究をしていく。

方向性							
<input type="checkbox"/>	① 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/>	② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/>	③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/>	④ 要検討
意見等	各計画の進捗や町民に分かりやすい評価システムの手法について検討したうえで、時代の変化に対応した次期計画を策定し、財源の確保、柔軟な予算運用、地域や民間等を含めた広域連携など、引き続き効果的・効率的な行政運営を図っていく。						

◎最終評価者[庁内評価委員会]

① 現状維持

②改善して町が実施

③改善して町以外が実施

④要検討

意見等

戦略的行政運営を実現するために、戦略的な自治体運営及びスリムな財政運営の推進は重要な施策であることから、各種取り組みを推進したところ、具体的な事業は概ね予定通り進んでいるものの、十分とは言えず、一部改善し、推進する必要がある。  
今後、さらに推進するために、各種計画については、長期的な視点に立ち、様々な課題に対応した次期計画を策定するとともに、各種評価システムについては、各施策の実効性を高める行政評価の仕組みづくりを進める。また、安定的な行政サービスを提供するため、引き続き、収納機会の拡充による財源確保に努めるとともに、予算についても、公会計等を活用しながら計画的に執行し、住民のニーズに対応した柔軟な運用を図る。